

～統合で広がった校区を知ろう！～

せらひがし四つ葉塾 【世羅町】

教室の概要

せらひがし四つ葉塾は、統合により広がった校区において、各自治組織を始めとするボランティアや各種団体が取り組んできた活動を、放課後子ども教室として継続して実施している。異学年・世代間交流を図りながら「地域から学び、地域を大切にすることの育成」と「休日における子どもたちの居場所の確保」に取り組む。

【開始年度】平成23年度	【実施校区】せらひがし小学校区
【開催場所】各地区自治センター(旧公民館)等	【コーディネーター人数】 1人 【安全管理員人数】 4人 【学習アドバイザー人数】 4人 【ボランティア人数】 多数(無償)
【開催日・開催時間】4日(土曜日) 各2時間程度	
【年間開催日数】4日	
【参加学年・平均参加人数】 保育所・幼稚園～小学校6年生 47人	

活動内容

実施時期	活動内容	実施地区
6月	ホタルの集い(ホタル観察会)	東地区
10月	芦田湖ウォーキングと八田原ダム見学会	伊尾小谷地区
10月～12月	輝け! ドリームヒルズ【夢の丘】(イルミネーションづくり)	宇津戸地区
11月	三川ダム早朝ハイキング(大妻コタカさん, 三川ダムの学習)	中央地区



ホタルの折り紙



八田原ダムについて学習



完成したイルミネーション



湖畔の早朝ハイキング

運営上の工夫

○ プログラムの企画・立案

関係者との協議の結果、内容については新たに事業を企画・実施してもらうことは負担感が大きい
ため、これまで各地区で実施されてきた事業の参加対象を校区全体に広めることとした。

○ 自治組織（自治センター）との連携

各自治組織（自治センター）と連携し、活動に関わる保険は、自治組織（自治センター）で加入
している保険を適用している。その他、用紙等必要な物品を、各自治組織で準備、負担してもらっ
ている。

○ スタッフの確保

この教室は、これまで各地区で実施されてきた活動を統合し継続した取組である。教室は、無償
ボランティアスタッフで運営されている。

○ 参加児童、保護者のニーズの把握、学校との連携

児童については各事業終了前に感想など発言の機会を設けた。保護者については開設初年度とい
うこともあり、PTA役員会やPTA総会の場で事業の趣旨や年間予定などの概要説明を行った。
なお、各回事業の周知チラシの配布及び参加者集約チラシは学校を通じて行った。

～地域のおじさん・おばさんが先生～



ホテルの折り紙指導



早朝ハイキングにて
世羅町出身・日本女子教育の祖
大妻コタカさんについての説明

事業を実施して

【参加者の声】

（児童の声） 統合前には興味があっても参加しづらかった他地区の行事に参加できた。

（保護者の声） 自分の地域でも知らないことが意外と多い。

（スタッフの声） 子どもたちを単に『お客さん』にさせてはならない。子どもたちが、自ら考え、活
動することを大切にしている。

【成果と課題】

・自治センター（自治組織）を中心とする各地区関係団体・学校関係者・保護者の理解のもとで「統
合で広くなった校区を知ろう」というテーマに沿った特色ある事業を各地区で展開して頂き、一定
の成果があった。

・学校の統合により、行事が増え、保護者や地域住民から負担が増えたとの声も聞かれている。事業
の趣旨を保護者・地域住民に理解していただくよう、継続して説明していく。

